

■ MATSUMOTO Kenji 松本 健司

MEXT (科研費)

1. 微生物型人工シデロフォアから着想したアルカリ耐性植物用鉄供給剤の合成と機能評価 (代表: 松本健司) 基盤研究(C), 令和2年度~令和4年度, 3,200千円, 代表: 今年度獲得直接経費(1,800千円).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 松本健司, 微生物型人工鉄輸送化合物による植物への鉄供給, 2020年 名古屋工業大学公開シンポジウム「社会実装を見据えた微生物・生体関連技術の最前線」, Web公開(2020/11/30-12/29).
2. 伊藤佑太, 栗原里加子, 橋本俊樹, 松本肇, 松本健司, 鈴木基史, 岩崎貢三, 森塚直樹, 上野大勢, 由来の異なる人工シデロフォア-鉄(III)錯体の植物への鉄供給能評価, 日本土壌肥料学会 2020年度岡山大会, オンライン開催 (2020/9/14-16).

Other Details (その他)

[Outside Comittee (学外委員)]

1. 高知化学会事務幹事
2. 先端錯体工学研究会運営委員会(企画・出版担当)

[Comittee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

1. 部門内プロジェクト「物質, 反応および分析・評価法の開発を通じた化学現象の探究」プロジェクトリーダー
2. 特別教育プログラム委員

■ Yonemura Toshiaki 米村 俊昭

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. 新規機能性無機化合物の開発に関する研究に対する助成, 米村俊昭, 300千円.
2. 新型コロナウイルス感染症拡大下における教育研究活動維持への助成, 米村俊昭, 100千円.

[Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

1. 海洋性藻類を中心とした地域バイオマスリファイナリーの実現に向けた新技術の創出 (代表: 恩田歩武) 文部科学省特別経費, 200 千円.

Reports (報告書)

1. 研究プロジェクト「海洋性藻類を中心とした地域バイオマスリファイナリーの実現に向けた新技術の創出」2019年度報告書, (2020/4/1).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. Koji Nakamura, Toshiaki Yonemura, Synthesis and Properties of Pyrimidinethiolato Cobalt(III) Complexes, 日本化学会第 100 春季年会, 千葉 (2020/3/22).

Other Details (その他)

[Outside Committee (学外委員)]

1. 日本化学会代議員
2. 高知県資格試験アドバイザー
3. 第44回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門研究発表論文審査委員

[Regional Contribution (地域貢献活動)]

1. 高知大学出前公開講座, アミノ酸の右手型と左手型 ～左右で, 味・香り・効能が違うものとは?～, (2020 /10 /16).
2. 兵庫県立尼崎稲園高等学校出前授業(オンライン), 身のまわりにある鏡像異性体の不思議について考えてみよう, (2020 /11/26).

■ GAMOH Keiji 蒲生 啓司

MEXT (科研費)

1. 地域を担う科学系人材創出のための教員養成・研修システムの開発とその実証的研究(代表:浅原雅浩), 基盤研究(B)(一般), 平成30~32年度, 330千円(通算150万円).

Any Other Funds (その他の研究経費)

[受託事業費]

1. 令和2年度全国河川教育大学間ネットワーク構築事業(代表:蒲生啓司), 河川財団, 令和2年9月~3年3月, 350千円.

[共同研究経費]

1. 東洋電化テクノリサーチ(株)(令和2年度, 研究代表:蒲生啓司), 低分子極性物質等の定量を目的としたLC/MS法の最適化に関する研究, 430千円(間接経費有り).

[学内競争的経費]

1. 令和2年度学長裁量経費(研究代表:蒲生啓司), 明日に向かうSDGsを共有し実現する理科教育の基盤構築, 300千円.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 横田康長, 赤松直, 蒲生啓司: 温度による飽和主蒸気量の変化から湿度の変化を促す実験の提案, **日本理科教育学会第70回全国大会**, 岡山大学(2020年8月22-23日).
2. 蒲生啓司, 楠目安由, 楠瀬弘哲: 課題研究 地域の理科・算数・数学教育を支える中核教員養成とその支援とは2, 教職大学院におけるCST養成と理科実践教育の高度化に向けたカリキュラム開発, **日本科学教育学会第44回年会姫路大会**, オンライン開催(兵庫教育大学), (2020年8月25-27日).
3. 蒲生啓司, 正岡恭一郎, 前田武晴, 公文俊祐, 美濃厚志, 奥田教宏, 大迫洋治: 脳内物質の定量分析に基づく自閉症発症メカニズムの解明, **日本分析化学会第69年会**, 名古屋工業大学(2020年9月16-17日).
4. 蒲生啓司, 道法浩孝: 教員養成課程におけるSTEM教育を指向した科学技術教育カリキュラム開発, **令和2年度日本教育大学協会研究集会**, Web開催(2020年10月10日).
5. 楠瀬弘哲, 蒲生啓司: 教職大学院における理科教育の高度化をめざすCST養成とカリキュラム開発, **令和2年度日本教育大学協会研究集会**, Web開催(2020年10月10日).
6. 吉本真里, 横田康長, 蒲生啓司: 質量保存の法則の理解を深める授業実践, **2020年日本化学会中国四国支部大会島根大会**, 島根大学(2020年11月28-29日).
7. 横田康長, 吉本真里, 蒲生啓司: 飽和水蒸気量の変化

による湿度の変化を温度変化から理解を促す実験の提案, **2020年日本化学会中国四国支部大会島根大会**, 島根大学(2020年11月28-29日).

8. 横田美香, 大西真子, 横田康長, 蒲生啓司: 気体の発生と性質を関連づけて理解させる取り組み, **2020年日本化学会中国四国支部大会島根大会**, 島根大学(2020年11月28-29日).
9. 蒲生啓司: STEM教育指向の化学教育カリキュラム研究, **2020年日本化学会中国四国支部大会島根大会**, 島根大学(2020年11月28-29日).
10. 山下陽来, 蒲生啓司: ストレス応答物質とバイタルサインによるメンタルストレス変化のモニタリング, **2020年日本化学会中国四国支部大会島根大会**, 島根大学(2020年11月28-29日).
11. 蒲生啓司, 正岡恭一郎, 前田武晴, 公文俊祐, 美濃厚志, 奥田教宏, 大迫洋治: 脳内物質の定量分析に基づいて自閉症発症メカニズムを解明する, **2020年日本化学会中国四国支部大会島根大会**, 島根大学(2020年11月28-29日).

Other Details (その他)

[学外委員]

1. 日本理科教育学会四国支部長(2020年度).
2. 国土交通省全国河川教育大学間ネットワーク会議委員(2020年度).

[部門選出の全学委員]

1. 海洋鉱物資源科学準専攻専門委員会委員

[地域貢献活動]

1. 高知県河川教育研究会会長

■ Izumi Masayuki 和泉 雅之

MEXT (科研費)

1. セレンの特異的な反応性を利用したユビキチン化糖タンパク質プローブの新規合成法 (代表:和泉雅之), 基盤研究(B), 平成29年度~平成32年度, 2,200千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. 糖鎖構造の可変を可能にする糖タンパク質の精密半化学合成とその品質分析技術の開発 (代表:梶原康宏, 分担:和泉雅之), AMED, 1,818千円.

Journal Publications (論文)

1. Izumi, M.; Araki, H.; Tominaga, M.; Okamoto, R.; Kajihara, Y. Chemical Synthesis of Ubiquitinated High-Mannose-Type N-Glycoprotein CCL1 in Different Folding States. *J. Org. Chem.*, 85, 16024-16034 (2020).
2. Maki, Y.; Okamoto, R.; Izumi, M.; Kajihara, Y. Chemical Synthesis of an Erythropoietin Glycoform Having a Triantennary N-Glycan: Significant Change of Biological Activity of Glycoprotein by Addition of a Small Molecular Weight Trisaccharide. *J Am Chem Soc*, 142, 20671-20679 (2020).
3. Maki, Y.; Nomura, K.; Okamoto, R.; Izumi, M.; Mizutani, Y.; Kajihara, Y. Acceleration and Deceleration Factors on the Hydrolysis Reaction of 4,6-O-Benzylidene Acetal Group. *J Org Chem*, 85, 15849-15856 (2020).
4. Oosumi, R.; Ikeda, M.; Ito, A.; Izumi, M.; Ochi, R. Structural diversification of bola-amphiphilic glycolipid-type supramolecular hydrogelators exhibiting colour changes along with the gel-sol transition. *Soft Matter*, 16, 7274-7278 (2020).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. ジョンソンエマリー, 和泉雅之, ユビキチン化インターロイキン8の化学合成研究, 2020 日本化学会中国四国支部大会, 島根オンライン (2020/11/28).
2. 秋山龍成, 和泉雅之, δ -セレンリジンを利用したジユビキチンの合成研究, 2020 日本化学会中国四国支部大会, 島根オンライン (2020/11/28).
3. 藤坂優馬, 古関利百, 和泉雅之, Fmoc 固相合成法を用いたコアフコース認識レクチン PhoSL の化学合成, 2020 日本化学会中国四国支部大会, 島根オンライン (2020/11/28).

Other Details (その他)

[Outside Committee (学外委員)]

1. 日本化学会中国四国支部地区幹事(高知)および化学教育協議会委員

[Committee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

1. 総合科学系教授会委員

[Regional Contribution (地域貢献活動)]

1. 高校生のためのおもしろ科学講座, 企画および化学担当講師, 高知大学朝倉キャンパス (2020/11/3).

■ Masanobu Mori 森 勝伸

MEXT (科研費)

1. 電解・透析を利用した医療用放射性銅の新規インライン分離・薬剤化システムの開発 (代表: 須郷由美), 基盤研究 (B), 令和2年度~令和5年度, 1,820千円.
2. 中国土壌の重金属汚染調査と農作物への影響評価 (代表: 板橋 英之), 基盤研究B, 平成31年度~令和2年度, 650千円.
3. 完全な再生可能資源化を目指したリグニンからポリアセニックファイバーへの展開技術 (代表: 森勝伸), 基盤研究 (B), 平成31年度~令和2年度, 2,000千円.
4. 赤城大沼における放射性セシウムのスペシエーション分析による動態解明 (代表: 岡田 往子), 基盤研究 (C), 平成32年度~令和2年度, 65千円.
5. コンクリート・地盤の統合評価に基づく有害物質の処理・処分技術の高度化 (代表: 半井 健一郎), 国際共同研究加速基金国際共同研究強化 (B), 平成32年度~令和3年度, 1,560千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

1. 機能バイオマスプロジェクト (代表: 恩田 歩武), 学長裁量経費, 令和2年度, 200千円.

Journal Publications (論文)

< 査読有 >

1. Development of a Size-exclusion/Ion-exclusion/Reversed-phase Separation Method for the Simultaneous Determination of Inorganic and Organic Acids, Sugars, and Ethanol During Multiple Parallel Fermentation of Rice Wine, Daisuke Kozaki*, Atsushi Yamamoto, Souma Tanihata, Naoki Yamato, Masanobu Mori, Akira Nose, Tohru Asano; Taichi Yoshinaka; Kentarou Hirano, Food Analytical Method Open Access, <https://doi.org/10.1007/s12161-020-01868-3>.
2. Electrodialytic handling of radioactive metal ions for preparation of tracer reagents, Yumi Sugo, Ryoma Miyachi, Yo-hei Maruyama, Shin-Ichi Ohira*, Masanobu Mori*, Noriko S. Ishioka, Kei Toda, Analytical Chemistry, 92 (2020) 14953 – 14958. (表紙掲載)
3. Development of evaluation method for photocatalytic ability by ion chromatography combined with a flow-type reactor: Application to immobilized photocatalyst materials prepared by double-layer coating method, Tsuyoshi Sugita, Kentaro Kobayashi, Taiki Yamazaki, Mayu Isaka, Hideyuki Itabashi, Masanobu Mori*, Journal of Photochemistry and Photobiology A: Chemistry, 400 (2020) 112662.
4. Pd- and Au-induced circular and fibrous polymer gelation via thiocarbonyl groups and high Pd catalyst activity, Daisuke Nagai*, Ayaka Kubo, Moeko Morita, Naoyuki Shimazaki, Yasuyuki Maki, Hiroyuki Takeno, Masanobu Mori, Hiroki Uehara, Takeshi Yamanobe ACS Applied Polymer Materials.2020, 2, 2211–2219.
5. Variations in Cadmium Concentrations in Rice and Oxidation-reduction Potential at the Soil Surface with Supplementation of Fermented Botanical Waste-based Amendment in Large-scale Farmland, Nobuhiko Wada, Gao Di, Hideyuki Itabashi, Masanobu Mori*, Yusuo Lin,

- Shaopo Deng, Weiwei Xu, Weiwei Guo, Yuanheng Luo, Dianyu Zhu, Analytical Sciences, 36 (2020) 531 – 538. <https://doi.org/10.2116/analsci.19SBP01>. (表紙掲載)
6. Selective Recovery of Copper(II) from Incineration Ash Produced from a Municipal Waste Incineration Facility Using a Flow-through Type Electrolysis Method, Masanobu Mori*, Satoshi Honda, Daisuke Kozaki, Analytical Sciences, 36 (2020) 611 – 615.

Books (著書)

1. 基本分析化学-イオン平衡から機器分析法まで(分筆), 三共出版株式会社, 東京 (2020) 全 253 頁, ISBN978-4-7827-0787-6, 第 10 章 135-147, 第 14 章 186-190 を担当.

Reports & Others (報告書)

Patents (特許)

1. 森 勝伸, 大平慎一, 戸田 敬, 須郷由美, 石岡典子, 分離装置, 分離方法, RI 分離精製システムおよび RI 分離精製方法, 特願 2020-514458.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. (Special Lecture) **Masanobu Mori**, The 27th Chromatography Symposium (Tokushima), **森 勝伸**, 第 27 回クロマトグラフィーシンポジウム (CS27), 「Analyses of salivary ions using capillary electrophoresis and relationship with bioactive substances (キャピラリー電気泳動法を用いた唾液中心イオンの分析と生理活性物質との関係)」徳島大学 常三島キャンパス 地域連携プラザからコロナ禍により誌上開催へ変更. 2020/6/4-5 (<https://www.chem.tokushima-u.ac.jp/B1/cs27/index.htm>), 誌上開催, 2020/4.28.

Domestic:

1. (ポスター発表) 久安駿弘磨, 森みかる, 田村隆典, 生田雄己, 小崎大輔, 石井孝文, 尾崎純一, 森 勝伸, 重金属イオンを担持したリグニンから機能性材料への変換に関する研究, 第 80 回分析化学討論会, 北海道教育大学札幌キャンパス, コロナ禍により誌上開催, (2020/5/23-24).
2. (口頭発表) 丸山洋平, 須郷由美, 宮地凌摩, 山崎直亨, 大平慎一, 戸田 敬, 石岡典子, 森 勝伸, フロー電解セルとイオン抽出装置を組み合わせた医療用放射性銅(64Cu)の分離精製, 第 80 回分析化学討論会, 北海道教育大学札幌キャンパス, コロナ禍により誌上開催, (2020/5/23-24).
3. (口頭発表) 生田雄己, 森みかる, 田村隆典, 久安駿弘磨, 小崎大輔, 石井孝文, 尾崎純一, **森 勝伸** 「グラフェン構造を有するリグニン由来のカーボン生成の機構解明 (I)」第 80 回分析化学討論会, 2020/5/23-24, 北海道教育大学札幌キャンパス, コロナ禍により誌上開催.
4. (ポスター発表) 土居睦卓, 濱崎真一, 山本陽大, 小崎大輔, **森 勝伸** 「多流路循環型抽出装置による土壌からの水銀溶出の可能性評価」第 80 回分析化学討論会,

2020/5/23-24, 北海道教育大学札幌キャンパス, コロナ禍により誌上開催.

- (一般公演 口頭) 丸山洋平, 須郷由美, 大平慎一, 山崎直亨, 宮地凌摩, 戸田 敬, 石岡典子, **森 勝伸**, 「カラム型フロー電解セルによる医療用放射性銅 (^{64}Cu) の分離とイオン抽出デバイスによる精製」日本分析化学会 第 69 年会, 2020/9/16-18, 名古屋工業大学御器所キャンパスから WEB 開催へ変更.
- (一般公演 ポスター) 久安駿弘磨, 森みかる, 田村隆典, 生田雄己, 小崎大輔, 石井孝文, 尾崎純一, **森 勝伸**, 「重金属イオンを担持させたリグニンからの機能性炭素材料への変換技術」日本分析化学会 第 69 年会, 2020/9/16-18, 名古屋工業大学御器所キャンパスから WEB 開催へ変更.
- (一般公演 ポスター賞受賞) 久安駿弘磨, 森みかる, 田村隆典, 生田雄己, 小崎大輔, 石井孝文, 尾崎純一, **森 勝伸**, 「重金属イオンを担持させたリグニンからの機能性炭素材料への変換技術」日本分析化学会 第 69 年会, 2020/9/16-18, 名古屋工業大学御器所キャンパスから WEB 開催へ変更.
- (口頭発表 口頭発表優秀賞) 田村隆典, 森みかる, 久安駿弘磨, 生田雄己, 小崎大輔, 石井孝文, 尾崎純一, **森 勝伸**, 「リグニンから機能性炭素材料の生成における NH_3 処理の影響」中国四国支部大会 島根大会, 2020/11/28-29, 島根大学から WEB 開催へ変更.
- (口頭発表) 細川堯志, 小崎大輔, **森 勝伸**, 「ポリオールを溶離液に用いたイオンクロマトグラフィーにおける無機・有機陰イオンの保持挙動」中国四国支部大会 島根大会, 2020/11/28-29, 島根大学から WEB 開催へ変更.
- (口頭発表) 濱崎 真一, 土居睦卓, 山本陽大, 小崎大輔, **森 勝伸**, 「多流路循環型抽出装置を用いた逐次抽出法の検討」中国四国支部大会 島根大会, 2020/11/28-29, 島根大学から WEB 開催へ変更.
- (口頭発表) 岡部 恵, 丸山洋平, 大平慎一, 小崎大輔, **森 勝伸**, 「電気透析を応用したイオン抽出法による無機ヒ素の化学形態分離」中国四国支部大会 島根大会, 2020/11/28-29, 島根大学から WEB 開催へ変更.

Other Details (その他)

[Award (受賞)]

- (ポスター賞受賞) 久安駿弘磨, 森みかる, 田村隆典, 生田雄己, 小崎大輔, 石井孝文, 尾崎純一, **森 勝伸**, 「重金属イオンを担持させたリグニンからの機能性炭素材料への変換技術」日本分析化学会 第 69 年会, 2020/9/16-18, 名古屋工業大学御器所キャンパスから WEB 開催へ変更.
- (口頭発表優秀賞) 田村隆典, 森みかる, 久安駿弘磨, 生田雄己, 小崎大輔, 石井孝文, 尾崎純一, **森 勝伸**, 「リグニンから機能性炭素材料の生成における NH_3 処理の影響」中国四国支部大会 島根大会, 2020/11/28-29, 島根大学から WEB 開催へ変更.

[Outside Committee (学外委員)]

- 公益社団法人 日本分析化学会 イオンクロマトグラフィー研究懇談会 委員長
- 公益社団法人日本分析化学会 2020 年度中国四国支部支部幹事
- JAFIA 編集委員

[Committee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

- アドミッションセンター委員
- 土佐さきがけプログラム グリーンサイエンスコースコース長
- 2020 年度高知大学入学者選抜学力検査 (後期日程) 試

験者

- 2020 年度高知大学入学者選抜学力検査 (推薦入試 I) 試験者
- 2020 年度高知大学入学者選抜学力検査 (社会人) 試験者
- 人事委員会

[Committee Activity within the cluster (部門内での活動)]

- 土佐さきがけプログラム研究科教務委員
- 土佐さきがけプログラム入試企画実施機構委員
- 教育研究部総合科学系複合領域科学部門副部門長
- 学系教授会担当
- 理工学部・理学部内部保障委員会
- 安全衛生委員
- 理工学部副学部長
- 理学部副学部長
- 教育研究評議会委員
- 大学院総合人間自然科学研究科理工学専攻副専攻長
- 大学院総合人間自然科学研究科理学専攻副専攻長
- 大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻副専攻長
- 高知大学入学者選抜学力試験 前期日程 出題・責任者および採点者
- 理工学理学専攻学務委員
- 大学院教務委員

[Regional Contribution (地域貢献活動)]

- 第 44 回全国高等学校総合文化祭高知大会(2020 こうち総文) 論文講評および評価 (2020/8/3-31).
- 令和 2 年度高知県高等学校総合文化祭, 第 4 回自然科学部門発表会 兼 紀の国わかやま総文 2021 自然科学部門出場選考委員 (高知市, オーテピア 4 階研修室・集会室, 2020/11/8, 参加 58 名).

■ Kazuhiko Yamada 山田 和彦

MEXT (科研費)

1. 次世代型NMR法を用いたゴムの架橋構造解析 (代表: 山田 和彦) 基盤研究(C), 平成30年度~令和2年度, 1,700千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. ハフニウムとジルコニウムを測定対象とする固体NMR法の開発, 第一希元素化学工業株式会社研究助成金, 1,000千円.
2. 超高感度化¹⁷O MRIシステムを用いた認知症早期診断法開発, 住友電工グループ社会貢献基金学術・研究助成, 2,000千円.
3. 次世代型固体NMR法を活用した石炭化学構造研究, 第29回鉄鋼研究振興助成, 1,500千円.
4. ミステリアスな金の表面を分子レベルで解明する, 田中貴金属記念財団「貴金属に関わる研究助成金」, 2,000千円.

Journal Publications (論文)

1. K. Yamada*, T. Yamaguchi, R. Ohashi, S. Ohki, K. Deguchi, K. Hashi, A. Goto, T. Shimizu, Field-stepwise-swept QCPMG Solid-state ¹¹⁵In NMR of Indium Oxide, Solid State Nucl. Magn. Reson. 2020, 109, 101688.
2. K. Yamada, Y. Yamaguchi, Y. Uekusa, K. Aoki, I. Shimada, T. Yamaguchi, K. Kato, Solid-state ¹⁷O NMR analysis of synthetically ¹⁷O-enriched D-glucosamine, Chem. Phys. Lett. 2020, 749 137455.
3. K. Yamada*, Determination of sulfur-33 electric-field-gradient tensors in elemental sulfur by 2D nutation echo NQR, J. Mol. Struct., 2020, 1209, 127932.

Books (著書)

1. K. Yamada*, Determination of sulfur-33 山田 和彦*, 15章 分光学的性質 15.3.5 .NMR 定数, 化学便覧 基礎編 改訂6版, 丸善出版.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. K. Yamada*, Development of Solid-State Sulfur-33 NMR for Analysis of Cross-Linking Structures in Rubbers, ACS Fall 2020 Virtual Meeting & Expo, virtual meeting, USA, August 17-20, 2020 (Oral, Invited, Virtual).

Domestic:

1. 山田 和彦*, Understanding of the quadrupolar interaction between solid-state NMR and NQR, 第59回 NMR 討論会, G メッセ群馬, 群馬, 令和2年11月19日 (一般口頭発表).

2. 山田 和彦*, 固体核磁気共鳴(NMR)法の現状と最新動, 東北・北海道支部/第1回材料研究会合同研究会「NMRシステムと関連材料」, オンライン, 令和2年9月17日 (招待講演).
3. 山田 和彦*, ゴムの架橋構造解明に向けた硫黄 NMR パラメータの理解, 第69回高分子討論会, オンライン, 令和2年9月17日(依頼発表).
4. 山田 和彦*, ミステリアスな金の表面を分子レベルで解明する, 田中貴金属記念財団・貴金属に関わる研究助成金受賞記念講演会, 田中貴金属工業株式会社本社, 東京, 令和2年9月8日(招待講演).

Other Details (その他)

[Outside Comittee (学外委員)]

1. 日本核磁気共鳴学会・評議員
2. 高分子学会 NMR 研究会・運営委員
3. 固体 NMR・材料フォーラム・運営委員

■ Kozaki Daisuke 小崎 大輔

MEXT (科研費)

1. ボーキサイト採掘による大気、水、土壌圏の水銀汚染と将来的な水銀溶出リスクの評価 (代表:小崎大輔) 若手研究, 平成30年度～平成32年度, 2020年度: 400千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. 完全閉鎖セル式水銀還元気化法を用いた簡易水銀測定キットの開発 (代表:小崎大輔) 国立研究開発法人 科学技術振興機構 A-STEP(トライアウト), 令和2年～令和3年度, 2020年度: 1,250千円.
2. IoTとAIの効率的学習とPDCAサイクルによる営農支援システムの自立的進化 (代表:受田浩之) 内閣府地方大学・地域産業創生交付金, 平成30年度～平成40年度, 2020年度: 600千円.

[Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. 流域圏学会奨励賞奨励金, 流域圏学会, 100千円.
2. 若手教員研究優秀賞, 高知大学, 150千円.

Journal Publications (論文)

1. Nose, A., Murata, T., Hamakawa, Y., Shoji, H., **Kozaki, D.**, Hojo, M., Effects of solutes on the alcohol-stimulative taste of vodkas, *Food Chem.*, 340, 160-176 (2020).

Patents (特許)

1. 小崎大輔, 森 勝伸, 濱崎真一, 土居睦卓, 完全閉鎖セル式水銀分析装置および完全閉鎖セル式水銀分析方法, 特願 2020-045407.

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 小崎大輔, 複合分離機構型イオンクロマトグラフィーを用いた多成分同時分離定量法の開発と応用, 日本分析化学会第69年会, 名古屋 (2020/8/19).

Other Details (その他)

[Award (受賞)]

1. 日本分析化学会奨励賞, 小崎大輔, 複合分離機構型イオンクロマトグラフィーを用いた多成分同時分離定量法の開発と応用, 2020/8/19, 愛知県名古屋市.
2. 流域圏学会奨励賞, 小崎大輔, 複合分離機構型イオンクロマトグラフィーの開発と応用～水域に根差した日本酒醸造から醸造解析まで～, 2020/11/10, 高知県高知市.
3. 若手教員研究優秀賞, 小崎大輔, 複合分離機構型イオンクロマトグラフィーの開発と応用～水域に根差した日本酒醸造から醸造解析まで～, 2020/11/10, 高知県高知市.

[Outside Committee (学外委員)]

1. イオンクロマトグラフィー研究懇談会委員会委員
2. 日本分析化学会・中国四国支部庶務幹事

[Committee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

1. 国際連携推進センター兼務教員